

## 第4回安曇野市環境審議会 会議概要

- |       |           |                                   |
|-------|-----------|-----------------------------------|
| 1     | 会議名       | 第4回安曇野市環境審議会                      |
| 2     | 日時        | 平成29年10月31日(火) 午後1時30分から午後4時15分まで |
| 3     | 会場        | 本庁舎 共用会議室 306                     |
| 4     | 出席者       | 環境審議委員 10名                        |
| ----- |           |                                   |
| 5     | 市側出席者     | 市民生活部 環境課 久保田課長、藤森係長、土屋主査         |
| 6     | 公開・非公開の別  | 公開                                |
| 7     | 傍聴人       | 2名                                |
| 8     | 会議概要作成年月日 | 平成29年11月8日                        |

### 協議事項等

#### 【進行表】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 審議・報告事項
  - (1) 第2次安曇野市環境基本計画【素案】について
  - (2) 安曇野市環境基本条例の一部改正について
  - (3) その他
4. 閉会

#### 【議事】

- (1) 第2次安曇野市環境基本計画【素案】について

<環境課から説明>

<質疑>

(委員) 素案8ページの公園整備面積の現状値(2016年)が、23.13 m<sup>2</sup>/人になっていますが、前回と変わった理由は为什么呢。

(環境課) 都市計画公園以外の公園を含めた数値で再計算したためです。

(委員) 12ページの燃えるごみの排出量などの達成率が前回と変わっていますが、理由はどのようなことでしょうか。

(環境課) 計算の仕方に誤りがあったための修正になります。

(委員) 4ページの「グリーン・イノベーション」という用語は、環境省のホームページをみても分かりにくいため、一般の方にも分かるように、コラムなどで説明をお願いしたい。

(委員) 2ページの安曇野市環境宣言の文中に“古代”以来という表現があります。当時の教科書から「原始」といった言葉が落ちたことの影響かもしれませんが、本来“古来”は古墳時代以降のことをいうので、“太古”又は“原始”の方が相応しいのではないのでしょうか。また、3ページに「環境基本条例」の概要を説明するコラムを入れるとよいと思います。それから、14～15ページに環境フェアのチラシや環境市民ネットワークの環境教育プログラム紹介冊子の表紙などを挿入すると親しみやすくなると思います。15ページには余白がありますので、各種計画の表紙などを入れてはどうでしょうか。同様に17ペー

ジ下にも余白がありますので、見やすくするという意味で、「自然環境」「生活環境」などをイメージさせるイラストや写真を入れてビジュアル化すると良いと思います。さらに、18 ページの余白には、安曇野市の環境に関する協働の取り組み、例えば環境市民ネットワークやさとぷろ、光城山の SAKURA プロジェクトなどが行われていることを、上の図とリンクするかたちで代表的な写真を入れながらコラムで紹介してはどうでしょうか。

(環境課) 安曇野市の環境宣言については、平成 20 年に可決されたものになりますので、修正は難しいかと思います。環境基本条例については、資料編として巻末に全文記載する方向で対応したいと考えています。3 ページへの表紙などの挿入については、概要版作成のことも考慮しつつ検討させていただきます。また、環境フェアや環境市民ネットワークの関係は、第2章に記述がありますので、そちらとの調整で重複のないようにしたい。17～18 ページについては、ご意見を参考にし、可能なものは反映させていただきます。

(委員) 17 ページの計画期間の図は、上の文章とあわせて、総合計画の計画期間も加えたらどうでしょうか。また、「安曇野市環境行動計画」がどういったものか一般の方にも分かるようにコラムなどで説明をお願いしたい。

(委員) 45 ページには、リサイクル率が低下する一方、リサイクルセンターの利用は年々増加との記述があり、12 ページでは、リサイクル数量が減っているのに達成率は 172%と高くなっています。リサイクル率は高い方が良いでしょう。一般の人には何が良いのか不明確だと思います。

(環境課) リサイクル率は高い方が良いが、民間による無料回収などにより正確な数値を算出することが難しい現状があります。12 ページの記述は確かに分かりにくいので、どういった表現にするか検討を要しますが、何かしらの工夫をしたいと思います。

(委員) 47 ページのコラムは 2012 年の資料ですが、リンゴの適地は切実な問題で、みんなが不安がることなので、なるべく新しい資料にしていきたい。

(委員) 44 ページの空間放射線量は、数値を示してもらえると変動があったときに比較できてよい。また、集中豪雨のコラムは温暖化のコラムと一括りにした方がしっくりくると思います。

(委員) 長野県を含めたいくつかの都県は、全ての食品・資料について中国に輸入規制されている現状がありますので、10 年後を見据えて空間放射線量を示しておいてほしい。

(会長) グラフは難しいかもしれないが、少なくとも数値だけは入れてください。

(委員) 「エコファーマー」と「環境保全型農業」の用語解説は、73 ページではなく、はじめに出てくる 28 ページに入れた方が良いでしょう。

(委員) 42 ページに臭気指数規制のことがありますが、2年実施して実態が見えてきたと思いますので、そういったことを工夫して記述していただければと思います。

(会長) 29 ページなどの地図に万水川の上の方(広域排水)を黒沢川に接続はしないように記入してほしい。

(委員) 地図はレッドデータブックからの出展で、当時は人工的なものを省いたのかもしれない。会長のおっしゃるようになるためには、別の図を作らないといけないのではないか。

(会長) 少し付け足すだけで、そう大変ではないと思うので、検討をお願いします。

(環境課) 確認し、可能であれば反映します。

(会長) 59 ページに、「あづみん」の現状として地域ごとの利用状況にばらつきがあることを記述してほしい。

(委員)56 ページに、以前はアレチウリ駆除の関係の記述があったのですが、それを削除した理由を教えてください。

(環境課)9ページに外来生物駆除の関係の記述があり、重複を避けるためです。

(委員)56 ページに安曇野環境市民ネットワーク参加団体が列記されていますが、活動内容や連絡先を記載したシートを作成されていると思いますので、例えば市が事務局を務める団体のシートを参考に入れると良いと思います。

(会長)参加団体が見つらいので、スペースがあれば3行くらいで箇条書きにしてはどうでしょうか。

(委員)62 ページの表中、Co<sub>2</sub>はCO<sub>2</sub>が正しいと思いますので修正をお願いします。

(委員)62 ページの「①共存・共生をはかるべきもの」の個別目標「景観や歴史文化を大切にする」に関連する指標を削除した理由は何でしょうか。

(環境課)修正過程で抜け落ちたものと思われます。

(委員)59 ページの図について、文章中に4つの柱とありますので、それにあわせたイメージ図にした方が良いのではないのでしょうか。

(環境課)検討いたします。

(委員)62 ページの公害苦情件数と43 ページの苦情件数がリンクするものであるならば、標記を統一してもらいたい。公害苦情と苦情では大きく異なる。また、62 ページの「化学物質などの問題をなくす」から“公害”が落ちている。

(委員)62 ページの公害苦情件数の目標値が220件/年となっていますが、普通は0件を目標にするのではないのでしょうか。

(環境課)我々としても0件を目標にしたいところではありますが、現実的には難しいという考え方から、220件としています。

(委員)62～63 ページの目標値の根拠、数値を決めた背景は何になりますか。

(環境課)総合計画と重なる目標値もあり、資料提供をすることは可能ですが、他の計画策定時に検討を重ねられたものも多く、そういった経過を事細かに説明するのは厳しいこともあり、ここに記述すべきか委員の皆様にお伺いしたいところです。

(会長)62～63 ページの目標値には、各個別計画の目標設定年度の目標値を引用しているものがありますが、例えば2020年度が個別計画による目標設定年度であるならば、2022年度の目標値は記入できるのではないのでしょうか。10年計画であるのに総合計画との整合のために5年後の目標値を定めたのに、さらに短い3年後を目標年度とすることには疑問があります。

(環境課)個別計画で定められた目標値については、新たに定められない限り記載は難しいと考えています。

(委員)62 ページの緑の恵みを感じることができる講座の開催数は、身近な都市公園で開催される講座の回数でしょうか。

(環境課)緑の基本計画に基づく講座で、都市計画課で開催するものに限定しています。

(会長)62 ページの特定外来種駆除活動の目的は、外来種を減らす又はなくすことだと思いますので、繁茂している面積や種類が減ったという視点で目標値を定めることが必要ではないか。参加人数だけを指標とすることには疑問を感じます。

(環境課)あまりにも繁茂しすぎて面積の把握は困難です。比較の元になる数値もないため、目標値に設定するのは難しい状況です。また、アンケートでは、駆除活動に参加したいという方は少なく、参加

人数を目標とすることには意味があると考えています。

(委員)62 ページの最下段、ダイオキシン類の濃度測定値は、“基準値”ではないでしょうか。

(環境課)誤りですので修正します。

(委員)70～71 ページの「里山をまもる」には、植樹や植林をするといった記述は入っているのでしょうか。伐倒した箇所には植林などをしないと環境を守ることにならないと思います。また、滞在者とは具体的にどこまでが対象となるのでしょうか。別荘の方も入りますか。

(環境課)植林の関係はご意見として反映させていただきます。滞在者については、環境基本条例に定めがあります。別荘の方も対象となります。

(委員)別荘の方も滞在者であれば、77 ページの「外来植物や外来生物が野外で増殖しないように適切に管理する。」などは滞在者も対象になるのではないのでしょうか。また、同様にその他の取り組みでも対象となるものがあるのではないのでしょうか。

(環境課)確認して修正します。

(会長)第4章の2節と3節の関係はどう見ればよいのでしょうか。

(環境課)前回の審議会で別表を示した際に、計画に入れた方がよいというご意見があり、それを反映して重点取り組みとまとめたものが第3節になります。

(会長)第3節には目標値があった方がよいのではないのでしょうか。

(環境課)66 ページに説明があるとおり、第3節に記載の重点の中から行動計画で管理するものを選定し、選定されたものには数値目標を定めていくかたちとしたいと考えています。

(委員)89～90 ページに「ごみのリユース」という表現があるが、リユースできるものを“ごみ”としてよいものでしょうか。また、89 ページの「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」の“e”は小文字で大丈夫ですか。

(環境課)県も含めて大きな括りとして“ごみ”という言葉を使用していると思いますが、念のため担当課に確認いたします。また、“e”については、この標記で大丈夫です。

(委員)全般を通して、“取り組み”という用語について“取組”、“取組み”などが混在するので、表中を含めて標記の統一をお願いします。また、86 ページの“ライトダウン”や 92 ページの“COOL CHOICE”は、日本語への言い換えや用語解説の追加をお願いします。

(委員)68 ページの写真の説明が「燕山荘と燕岳」となっていますが、“燕山荘”は企業名なので、「燕岳」とした方が無難ではないでしょうか。加えて、70 ページの写真の説明は「明科地域のアカマツの更新伐採地」となっていますが、この表現だと樹種転換ではなく、アカマツを更新していくようにとれる。樹種転換ではないのですか。また、88 ページの「化学物質などの問題をなくす」は、101 ページと合わせ、“公害”をつけるべきだと思います。その他の箇所でも整合するよう確認をお願いします。

(環境課)骨子案では“公害”がついていました。43 ページの 3-3 に空地・空家の件など公害には含まれない記述があったことから“3-3 公害”から“3-3 その他環境”に修正し、その兼ね合いで削った経過があります。整合するように修正します。

(委員)76～77 ページにシンボル種、レッドリスト種という用語がありますが、シンボル種(象徴種)は市外にアピールしやすいので、用語解説なりコラムなりを盛り込んでいただくと良い。また、81 ページの歴史・文化遺産に関する普及啓発に関して、市民向けの情報提供という意味で、郷土博物館やあづみの学校、からすの学校、安曇野検定のことなどを紹介できると良いと思います。地域学校協働活動は、市教委でも取り組むべきものだと思いますので、可能であればいずれかの場所に入れていただき

たい。97 ページの基本施策「イベント・プログラムの提供」の取り組み「◇環境学習に関するイベント・プログラムを開催する。」は、同じことを繰り返しているように感じますので、「◇各世代に向けたイベント・プログラムを開催する。」に変更したらどうでしょうか。また、都市計画課、耕地林務課などもイベントなどを実施していると思いますので、担当課が環境課一本で良いものでしょうか。

(環境課) 地域学校協働活動については、長野県では信州型コミュニティスクールという名で進められているものかと思いますが、市でも今年度から制度ができており、それについては 96 ページの『「総合的な学習の時間」を利用して、地域の環境を学ぶ』に含まれています。

(委 員) 92 ページに重点取り組みで「◎住宅用太陽光発電の効果を検証する。」とありますが、具体的な内容はどうなりますか。

(環境課) 検討段階ではありますが、補助金の交付対象者に対するアンケートなどにより発電量・売電量を把握し、どれだけの効果があるのかを検証したいと考えています。

(委 員) 売電価格の低下により、引き続き売電するのが良いのか、蓄電池を導入した方が良いのかといった問題がでてくるかもしれませんので、県や市として助言するようなことを検討してほしい。

(環境課) そういった状況は把握しておりますので、検討課題の一つとさせていただきたい。

(委 員) 88 ページの「◎公害について情報提供する。」と「◇公害発生時には迅速に対処をする。」は上下逆にしないと辻褄が合わないのではないのでしょうか。また、99 ページの「◎荒廃農地対策を行う。」の担当課から農業委員会が落ちているのではないのでしょうか。

(環境課) 修正します。

(委 員) 110 ページなどの“エコアクション 21”や“PDCA”などについては、用語解説を入れていただくとう小学生などのお子さんにも分かりやすいと思います。

(委 員) 108 ページの計画 (Plan) の図の“反映”の意味が不明です。矢印の向きが逆なのではないでしょうか。

(環境課) 図中“実施計画書”にかかるように矢印を修正します。

(委 員) 平成は 31 年で終わるのが確実です。平成 31 年以降の表記で“平成”が入っている箇所と入っていない箇所がありますので、入らない方で統一をお願いします。

(委 員) 関連情報の入手ということで、環境と関連する公共施設や研究機関を付録などに載せたらどうでしょうか。また、計画を評価してもらうということで、環境省の大臣官房の環境計画課などに送付して安曇野市の取り組みを PR することも大事ではないでしょうか。そのこと自体が、市内で環境活動をする方の励みにもなると思います。さらには、委員や市職員など、この計画の策定に携わった方の名前を入れて、これだけの人が関わって策定した計画だということを市民に知らせたらどうかと思います。最後に課題になりますが、策定された計画の活動に参加した市民を表彰するようなこともインセンティブの付与という観点で検討いただければと思います。

(環境課) 市職員は除きますが、審議会・推進会議の委員名については第 1 次計画と同様に入れさせていただきます。

(委 員) 8 ページの表では、間伐をたくさん行って達成率が 455.5%と高くなっており、間伐をすればするほど良いと見られかねません。間伐には洪水の危険性もありますので、ここの表現は変えた方が良いでしょう。

(会 長) 松枯れは市民が一番注目していることであり、特に西山が心配されていますので、もう少し具体的な対策のことを記述していただけるとありがたい。

(環境課) 松枯れについては、さまざまな課題、考え方があり、担当課も苦慮している状況です。環境基

本計画の中で具体的にどうしていくかを記述することは難しいと考えています。

(2) 安曇野市環境基本条例の一部改正について

<環境課から説明>

<質疑>

(委員) 追加条文中の“秘密”の定義はどうなりますか。このままだと全部秘密に該当するように読めてしまうと思います。

(環境課) 具体的な範囲について明示できるか法務担当と検討しますが、他の個人情報を扱う審議会などでも同様の記載となっています。

(3) その他

特になし

閉 会